

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市子育てふれあいプラザ泉中央
2	指定管理者	一般社団法人 マザー・ウイング
3	指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 66,782人 (前年度比84.5%) 内訳 ひろば利用者 44,645人 託児利用者 1,592人 中高生 17,369人 子育て支援者 1,006人 ホール利用 42件 (2,170人) ※視察等の利用者 528人 平成28年度 81,511人 平成29年度 76,320人 平成30年度 79,043人</p> <p>《事業》 子育てを行う市民に対する交流の場の提供, 子育てに関する相談, 情報提供等, 子育てを総合的に支援する事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p>()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者に支払った費用 54,581千円 (54,210千円) その他市が負担した費用 0千円 (0千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用料収入 3,548千円 (4,192千円) ※託児料 338千円 (587千円) ※ホール利用料 その他収入 443千円 (521千円)
6	利用者の声	<p>《実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見箱の設置 イベント開催時に, 参加者に対してアンケートを実施

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	子育てふれあいプラザの設置目的に基づいた基本方針を策定し, 掲示等により利用者に周知している。 利用者アンケートの満足度も総じて高く, 子育てを総合的に支援し, 子育てが安心してできるまちの実現に大きく貢献している。	21/21
II 施設の運営管理体制	各種マニュアルを整備し, 事故や災害発生時にも迅速に対応できるよう体制が明確化されている。 個人情報保護や情報セキュリティ対策についても, ソフト・ハード両面について適切な取組がなされている。	29/29
III 施設・設備の維持管理	乳幼児が利用する施設として求められる安全性等を十分に理解した上で, 遊具等が破損していないか, 温度は適切かなど, 館内の状況に常に配慮し, 利用者が安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行っている。	19/19
IV サービスの質の向上	各イベント参加者へのアンケートの実施, 利用者懇談会の開催や独自の意見箱の設置など, 意見や要望等を積極的に取り入れ, 利用者の視点に立ったサービスの提供を心掛けている。 職員間においても, 業務ごとのマニュアルを整備し, 日々のミーティング等で情報共有を図るなど, サービスの質の向上に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	子育てふれあいプラザの設置目的と役割を十分に理解し, 利用者のニーズを的確に把握しながら, 乳幼児親子の交流の場の提供(ひろば事業)や子育てに係る情報収集, 一時預かり事業, 子育てに関する情報収集, 提供事業などを適切に実施している。	11/11

三 評価総括

《指定管理者（一般社団法人 マザー・ウイング）による自己評価》
<p>利用者からの声を取り入れながら、親子の交流と育ち合いの場となるよう、安心安全な施設運営に取り組めた。特に、のびすく泉中央の強みでもある、利用者のニーズに応えたイベントの充実、相談、情報提供等、多くの事業を、安全に満足度高く実施することができた。相談事業においては、利用者支援事業開始より3年連続で、昨年度を上回る件数となり、継続的な支援が必要な親子が増えているが、この課題にも対応することができた。</p> <p>託児においては、今年度は祝日も多く、土日祝日は、普段は保育園に預け仕事をしている方の利用が多かく見られたことから、今後の託児利用の増加のためのヒントとしたい。</p> <p>泉中央の大きな特徴として、子育て支援を行う方への支援活動があるが、子育て支援事業は計画的に事業をすすめることができた。のびすく泉中央の施設が、支援者同士やその利用者との貴重な交流の場となっていると感じている。</p> <p>中高生事業では、大学生スタッフによるピアサポートの良さを活かした運営を行うことができた。</p> <p>地域の子育て支援拠点として、乳幼児親子と中高生のふれあいが出来ることも、施設の強みである。ホール運営については、建物の老朽化に伴い、設備の修理、利用者のリピート率が下がるなど、引き続き課題が多くあると感じている。設備は、全体的に老朽化が進み、経年劣化による修理、故障が発生してきている。利用者に快適な環境を提供できるよう今後も運営に工夫を凝らしていきたい。1月後半より、新型コロナウイルスの影響が、来館者にも職員にも見られるようになり、3月からは運営自体も厳しい状況になったが、職員自らが考え、アイデアを出し、研修を通じて施設の運営に役立てるよう、一人一人の意識向上に努めることができた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>ひろば事業では、利用者懇談会やアンケート等を通じて、利用者の声を丁寧に聞き取り、利用者のニーズに応えたひろば運営やイベントを実施した。また、相談事業では、ひろばや一時預かりの職員と、本市の委託事業の専門相談員との連携をより密にし支援を行ったことで、相談件数が前年度を上回る件数となっており、子育て家庭の負担軽減に貢献している。</p> <p>一時預かり事業では、保護者からのヒアリングを緊密に行い、個別の配慮が必要な乳幼児の預かりを積極的に行うなど、親支援の視点に立ち、利用者の一時的預かりに対する抵抗感や不安を取り除くことで託児の利用促進を図った。</p> <p>4階プラザでの中高生事業では、中高生が自分のやりたいことに一歩踏み出せるよう、利用者が主体となって企画・運営等を行うイベントの実施や、ひろばと連携し中高生が乳幼児とふれあいながらボランティアを行う機会を作るなど、ソフト事業の工夫を通して主体的な社会参加のために必要な資質を養う場の提供を行った。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部総務課